



# 練馬区内の銭湯では初の天然温泉！

## 「天然温泉 久松湯」がリニューアルオープン！

事前のお知らせ

と き と こ ろ	落成式	5月14日 午前11時(午前10時30分受付・内覧開始)
	営業開始	5月15日 午前11時～
	場所	練馬区桜台4-32-15 西武池袋線桜台駅下車北口 徒歩7分

15日、練馬区で銭湯「久松湯」がリニューアルオープンする。

一番の目玉は、今回のリニューアルに合わせて地下1,500mから引き当てた、区内の銭湯では初となる露天の天然温泉。東京23区に湧出する温泉の特色でもある茶褐色で、海水のようなしょっぱさのある塩泉で、保温効果やリラックス効果がある。また、浴室の壁面をスクリーンとして使う映像演出を取り入れた。

久松湯の 風間久松さんは、この演出について、「銭湯はもちろん、スーパー銭湯でもこういった設備を取り入れているところはないと思う。お客さんに目でも楽しんでもらいたい。ゆくゆくは、練馬の四季の写真などを映して、練馬の魅力を銭湯から発信したい。区の公式アニメキャラクターねり丸の動画も流せれば、おもしろい」と話す。

14日に落成式が行われ、翌日15日の11時から営業を開始する。



壁面スクリーンの映像演出



茶褐色の天然温泉

### 【公衆浴場をとりまく現状と練馬区の取り組み】

現在、公衆浴場は、全国的に減少傾向にあり、練馬区内でも、平成元年に82軒あった銭湯が、現在は約3分の1の29軒となっている。

このような厳しい状況の中、国及び地方公共団体では、公衆浴場の経営の安定を図る等必要な措置を講ずることにより、住民の公衆浴場の利用の機会の確保に努めることが求められている。区も、区内浴場の減少に歯止めをかけるべく、りんご湯やゆず湯といった季節湯の実施(年6回)を通じた利用啓発や、設備改善や燃料費に対する助成等を行っている。久松湯のリニューアルオープンには、この区の補助金に加え、東京都の補助金が活用された。

このほか、区は、地域の交流の場、健康づくりの場としての公衆浴場の特性を活かし、孤独感の緩和と健康維持を目的に、65歳以上のひとりぐらし高齢者に公衆浴場の入浴証を交付している(1回100円、年間最大52回分)。また、65歳以上の高齢者が年に1回、指定保養施設や理容店、映画館等を利用できる「高齢者いきいき健康事業」でも公衆浴場を利用することができる。さらに、災害時に被災者への入浴支援を行うことなどの協定も締結している。

### 【久松湯 風間さんの話】

「今は、どこの家にも浴槽があって、利用者が減少する厳しい状況です。しかし、そんな状況だからこそ、大幅な改築工事を行いました。一人でも多くの方々に利用してもらい、銭湯の魅力を感じてほしいです。うちの浴場以外にも区内には様々な魅力ある銭湯があります。これからも行政等と連携して銭湯の魅力をPRしていきたいです」



### 【問い合わせ】

練馬の公衆浴場施策等に関する問い合わせ

区民生活事業本部 産業経済部 経済課 産業計画係 電話 03-5984-1483

久松湯に関する問い合わせ

「天然温泉 久松湯」 電話 03-3991-5092